

「まいに」と「めふ」をつなぐ、米谷自治会広報誌

マイメダヨリ



【予告】防災フェエスタ 2020 開催決定！

今年も開催決定!

一斉清掃が
終わった後は

今年も「防災フェスタ2020」を開催します。

阪神・淡路大震災から25年目の節目の年

みんなで楽しく「防災・減災」について学びましょう。

一斉清掃で街がキレイになったその後は

皆さんおそらく高架下公園へお越しください!!

参加者全員に
防災グッズを
プレゼント!

ロープ結び
講習

近隣4自治会(米谷・宝塚壳布住宅・壳布園住宅・ピピアめふ2)共同開催

防災フェスタ

総合防災訓練

開催決定!

煙霧体験



初期
消火訓練



AED
講習



※写真はすべて過去の
防災フェスタの様子です

とき

5月17日 雨天決行

AM9:30~ 受付 / AM10:00~ 訓練(正午頃まで)

ところ

中国道高架下公園

(例年、盆踊り会場となっている所です)

当日は宝塚東消防署にもご協力いただき、役員および防災士もお手伝いします。

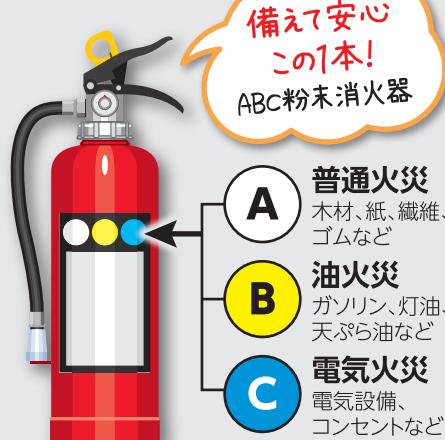
※内容は都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。 ※詳細は、後日回観および掲示板にてお知らせします。

消
火
器
の
話

毎年「防災フェスタ」において消火器による初期消火訓練を行っていますが、家庭用消火器とはどんなものなのでしょうか?

消火器には火災や薬剤の種別によっていろいろな種類がありますが、現在家庭用消火器として出回っているのは「ABC粉末消火器」がほとんどです。

表示面には白・黄・青の3つの丸い印がついていて、それぞれは火災の種類を表します。



また、薬剤の種別により、大きく分けて「粉末系消火器」「水系消火器」「ガス系消火器」があり、とりわけ粉末系消火器は炎の抑制効果が高く、素早く消火ができるという特徴があります。

全ての火災に対応し、素早く消火のできる「ABC粉末消火器」であれば、家庭内の初期消火としてはほぼ万能と考えていいでしょう。

ただし、消火剤の出ている時間は短く、10~20秒程度。小さな火事なら消火器1本で消せますが、火が天井まで広がったら初期消火は不可能です。即時に避難してください。また、天ぷら火災の場合は直接ではなく、鍋の向こう側の壁に噴きかけ、



2020



その反射で鍋を覆うようにします。

そして肝心なのは、実際に火事が起きたら「火事だ〜!!」と大声で近くの人に知らせる事。消火器の扱い方は定期的な訓練で身に付けていくようにしましょう。



暮らしの歳時記を詠む

俳人 杉山 鮎水さん(本名:力さん)

近年、俳句がちょっとしたブームですね。今回は壳布3丁目住の俳人、杉山鮎水(あゆみ)さんに俳句との出会いやその楽しさ、また俳句を通しての様々な人との素敵なお会いなどについてお話をいただきました。

1934年、鮎水さんは当時宝塚町に2院しかなかった歯科医院のひとつ、杉山歯科医院の長男・力(つとむ)として誕生。お父様は「優しい先生」と評判だったそうです。

若い頃大病を患い、病院での療養生活を余儀なくされます。長く退屈な入院生活の中、同じ病棟で過ごす人たちに誘われ俳句の道に。大結社「浜」の大野林火先生の高弟、目迫(めさく)秩父師の句集『雪無限』に魅せられ、師の主催する句会「千尋(ちひろ)」に入会。ここで師匠からは「前だけでなく後ろも見よ。足下も見よ。」と教えられ、日々の生活での何気ない日常を情景豊かにあらわす手法を学びます。

「療養生活が長かったせいで、出世も結婚も同級生と比べて10年遅れてしまった。」とおっしゃる鮎水さんですが、俳句を通して素敵なお会いもありました。勉強のために訪れた別の句会で、たまたま隣に座っていたよく笑う女性が後の奥様となる綾子さん。透き通るような美声に惚れ込み、結婚後、「鈴音(すずね)」という俳号を付けてあげたそうです。



秩父師没後、現在は俳句会「陸」所属。時代と共に進化している現代俳句にも意欲的に取り組み、基本に忠実になるべく分かりやすい言葉で表現するように心掛けているそう。いつも机の右手に電子辞書、左手に季語の辞典を置き、気になる言葉・漢字はすぐに調べるそうです。「季語について調べていると、いろいろな知識が付いて、それが楽しい。」と朗らかにお話になります。数年前に綾子さんを亡くされたが、月に一度は句会「序曲」にて初心者を対象とした俳句教室を開くなど、とても若々しく輝いていらっしゃいます。教室では「一緒に俳句を愉しむ方を募集中」とのこと。受講料は無料です。俳句に興味のある方は一度のぞいてみてはいかがでしょうか? 予めお電話を。



句会「序曲」の皆さん

**句会「序曲」毎月第2水曜日 13:30~
宝塚市平井1-6-7 ピアハイツ105
大島事務所内 ☎(0797)89-4090**

宝塚市立 共同利用施設 米谷会館をご利用ください

米谷会館には多目的にご利用いただける集会室をはじめ、各種会議室や和室、調理室があり、お友達との憩いの場として、また教養や趣味を広げる場として、多くの方々にご利用いただいている。

同じ趣味を持った人たちとの交流で輪が広がります。体操、コーラス、手芸、楽器などの各種教室や、お年寄りの方々が楽しみにされている「おしゃべりサロン」など、多くの方が楽しい時間を過ごし、笑顔で帰って行かれます。

会館は米谷自治会の会員の方は無料でご

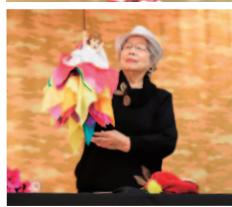
利用いただけます。定期利用(曜日指定または1ヶ月あたりの利用回数指定)はもちろん、1回限りでもご利用いただけますので、お気軽にご相談ください。

●お問い合わせ・お申し込みは

TEL&FAX 0797-87-3727

米谷会館管理人 岡野まで

会員以外の方、また、会員であっても営利目的でのご利用は、利用料がかかる場合があります。詳しくは米谷会館までお問い合わせください。



1/18(土) 新春恒例 お楽しみ会 「ニッポンのお正月」

令和に改元されて初めての新春特別お楽しみステージ「ニッポンのお正月」が開催され、70余名の方にお集まりいただきました。

まずは宝塚シニアマジッククラブの皆さんによる手品から。定番のBGM「オリーブの首飾り」にのせて数々のマジックが披露されました。ワインボトルが消えたり、色とりどりのスカーフから傘や花束が飛び出したりと鮮やかな技に皆さん魅了されました。

次に落語家の月亭秀都さんによる落語二席「動物園」と「桃太郎」が演じられました。テレビで見るのとは全く違う雰囲気で、プロの落語家による、観客の皆さんを巻き込んでのやりとりに会場は大いに盛り上がりました。

最後は日本南京玉すだれ協会八房流の皆さんによる伝統芸能。傘回し、南京玉すだれ、皿回しが披露され、南京玉すだれでは、会場一体での手拍子の中、ご当地バージョンとして「宝塚歌劇」を意識したや造形や東京オリンピックの五輪のマークなどが作されました。そこへ突如現れた聖火ランナー(?)が走り抜け、会場は大爆笑。最後は観客の皆さんや月亭秀都さんにも「皿回し」を体験していただき、楽しいひと時となりました。

2/1(土) 鍵盤ハーモニカアンサンブル「ドリニカ」 第6回 Thank Youコンサート 「大空にTAKE OFF」



ドリニカの『THANK YOU CONCERT』も第6回を数え、今回多くの皆さんにお越しいただきました。

結成から10年目を迎える節目である今年のテーマは『大空へ TAKE OFF』。“新たな10年を見据えて、次のステージへの離陸”という想いを込め、トニー先生の素晴らしい

アレンジと、しっかり息の合った演奏で、音楽の世界旅行を楽しめていただきました。

この次は?との問い合わせに、『世界旅行』からさらに飛躍して『Fly Me To The Moon』の言葉をいただき、また来年の楽しみが増えました。併せて、この会が米谷の繋がりの一助になれば、との思いもお聴きしました。

米寿会だより

高地幸子副会長が表彰されました

令和元年11月19日(火)、宝塚ホテルにて開催の『第50回宝塚市老人福祉大会』において、「長年にわたり老人クラブの育成・発展に努められ、その功績が顕著である」ということで、宝塚市老人クラブ連合会より表彰されました。おめでとうございます。

編集後記

本号では5月開催の「防災フェスタ2020」(防災訓練)の予告をさせていただきました。“とっさの場合、普段やっていることさえ、なかなかうまくできない。ましてや、普段やっていない・考えていないことなど、できるわけがない”とよく言われます。初めて防災フェスタに参加される方はもちろん、以前 participated よと言われる方も、繰返すことでの対応力を上げてください。防災は“他人事”ではなく“わがこと意識”で。

自治会への
メールは
こちらまで

